

平成30年度季節的就労に係る実態調査集計報告

今冬の雇用保険特例受給資格者を対象に、ハローワーク千歳ご協力のもと「季節的就労に係る実態調査」を実施しました。収集データを基に、より実効性の高い通年雇用促進支援事業の策定や、季節労働者の雇用対策に活用することを目的としています。

調査方法は季節労働者の雇用保険特例一時金受給手続きの際に、ハローワーク千歳就職相談担当者から恵庭市在住の季節労働者に季節的就労に係る実態調査票(以下「調査票」と言う。)の配布を行い、失業認定日出頭の際にハローワーク千歳失業認定担当者が調査票を回収し、恵庭市通年雇用促進協議会が集計・分析を行いました。集計結果は以下のとおりです。

平成30年度の恵庭市在住の季節労働者は702人(ハローワーク千歳調べ)であり、恵庭市在住の季節労働者316人以下「回答者」と言う。)の調査回答を得ることができた。回答率は平成30年度恵庭市在住の季節労働者全体の45.0%であったが、高齢者の回答が目立った。

回答者の性別年齢構成 (表 1)

性別/年代	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	性別計
男性		2	12	14	42	32	109	211
女性		4	3	13	36	21	28	105
合計		6	15	27	78	53	137	316

回答者の短期雇用特例被保険者の状況 (表 2)

短期雇用加入状況 / 性別	男性	女性	加入歴合計
初めて	12	7	19
初めてではない	188	89	277
未回答	11	9	20
合計	211	105	316

初めて短期雇用特例被保険者になった19人の勤務業種・年代別 (表 3)

業種/年代	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	性別計
建設業			1	2		1	3	7
ゴルフ場					2	1	2	5
農業・園芸・林業		1	1		2		2	6
その他業種						1		1
合計		1	2	2	4	3	7	19

回答者の季節就労業種と年齢別構成 (表 4)

業種/年代	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	性別計
建設業		2	6	11	21	11	45	96
ゴルフ場		3	4	6	31	26	50	120
農業・園芸・林業		1	2	4	10	6	17	40
その他業種 ※			3	6	16	10	25	60
合計		6	15	27	78	53	137	316

回答者のH26年度～H30年度の調査回答頻度 (表 5)

回答頻度/性別	男性	女性	合計	構成比
H30～過去4回以上	113	49	162	51.3%
H30～過去3回	40	22	62	19.6%
H30～過去2回	30	16	46	14.6%
H30 新規登録者	28	18	46	14.6%
合計	28	18	46	14.6%

● 回答者の性別及び年齢構成は表1のとおりであり、190/316人(60.1%)が高齢者である。うち270/316人(85.4%)が反復回答者であり、H26年度以前からH30年度まで、4回以上の回答協力者は162/316人(51.3%)に及んだ。回答結果は表5、表6のとおりである。

一方、平成30年度の新規登録者は46/316人であり、回答者の14.6%であった<表5参照>。

● 回答者の就労業種 男性が211人中、建設業が92人(43.6%)、ゴルフ場が57人(27.0%)、2業種で70.6%を占めた。女性は105人中、ゴルフ場が63人(60.0%)、農業・園芸・林業で21人(20.0%)、2業種で80.0%を占めた<表6参照>。

● 回答者の通年雇用化意識調査 回答者316人中、男女合わせて89人(28.2%)が、通年雇用化を希望すると回答した(表6参照)。回答者のうち60歳以上が190人(60.1%)に及んだため、季節労働者の事業ニーズに偏りが生じることはいなめない。高齢者は通年雇用を希望するよりも、自身のライフスタイルに合わせた就労形態を望むと考えられる。回答者の年齢構成は表1、4を参照。

● 新規登録者の増員 回答者のうち19人が短期雇用特定被保険者に初加入したと回答したが、65歳以上の高齢者の回答が目立ち、定年後の再就職で季節労働者を選択したと思われる<表2、表3参照>。
季節労働者の事業ニーズに沿った技能講習の立案と利用稼働率を上げるには、幅広い年齢層の回答が必要であるが、特に若年層及び中年層の回答率の向上がより実態に近い支援事業となり、季節労働者の通年雇用化に繋がるものと考え、新規の登録季節労働者の回答増が、今後の課題である。

平成30年度回答者の勤務先業種【性別】、通年雇用化意識回答【業種別】 (表 6)

離職前の勤務業種	性別内訳		通年雇用化意識内訳					合計
	男性	女性	●	×	▲	その他	未回答	
建設業	92	4	39	22	28		7	96
ゴルフ場	57	63	20	38	55		7	120
農業・園芸・林業	19	21	8	10	16		6	40
その他業種 ※	43	17	22	14	19		5	60
合計	211	105	89	84	118		25	316

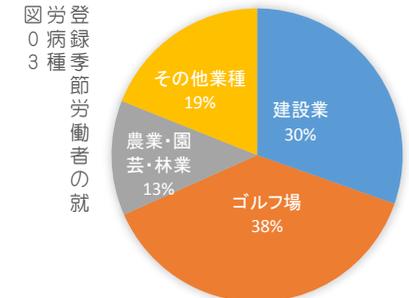
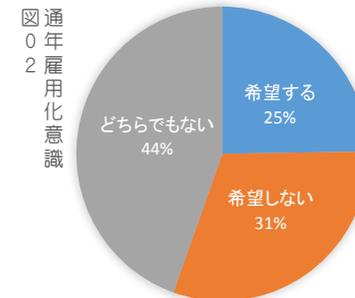
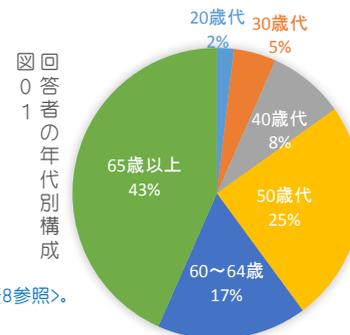
4回以上の回答者 (表 7)

年代/性別	男性	女性	合計
20歳代		2	2
30歳代	6	1	7
40歳代	6	5	11
50歳代	23	17	40
60～64歳	14	12	26
65歳以上	64	12	76
合計	113	49	162

その他業種※内訳 (表 8)

性別/業種	公園管理業	ゴルフ場以外のサービス業	食品以外の製造業	警備業	施設管理業	運輸運送業	その他販売業含む	性別合計
男性	9	3	4	19	3	2	3	43
女性		2		1			14	17
合計	9	5	4	20	3	2	17	60

その他業種60名の業種内訳は<表8>のとおりであり、男性が警備業、女性が販売業が主な業種である<表8参照>。



回答者の勤務先所在地【性別毎、業種別】 (表 9)

離職前の勤務先所在地	性別内訳		業種別内訳				業種別所在地合計
	男性	女性	建設業	ゴルフ場	農業・園芸・林業	その他業種	
恵庭市内	119	76	66	55	29	45	195
北広島市内	30	17	8	35	2	2	47
千歳市内	31	4	12	11	3	9	35
札幌市内	10	2	5	3	3	1	12
その他	21	6	5	16	3	3	27
未回答							
性別・業種別合計	211	105	96	120	40	60	316

回答者(316人)のうち195人(61.7%)が恵庭市内の事業所で就労していたと回答した(表9参照)。しかし、業種別で比較するとゴルフ場従事者は恵庭市内と近郊で120人が就労していたが、うち65人(54.2%)が市外で就労していたことがわかった(表9参照)。

男性の業種別勤務先所在地 (表10)

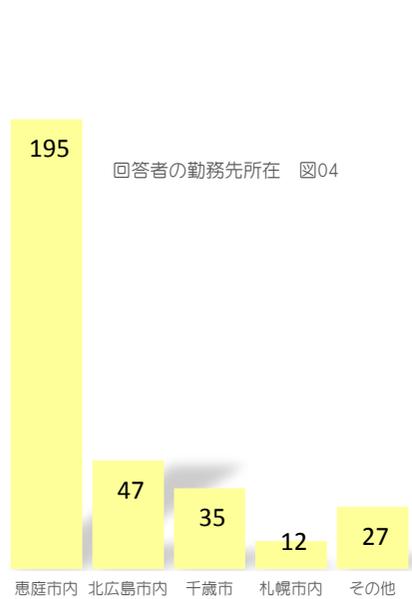
離職前の勤務先所在地	男性勤務先所在地内訳				合計
	建設業	ゴルフ場	農業・園芸・林業	その他業種	
恵庭市内	62	17	9	31	119
千歳市内	12	7	3	9	31
北広島市内	8	20	1	1	30
札幌市内	5	2	3		10
その他	5	11	3	2	21
未回答					
性別・業種別合計	92	57	19	43	211

恵庭市内に従事する男性(119人)のうち建設業従事者は62人(52.1%)、その他業種(7業種)が31人(26.1%)となった。2業種で78.2%を占めた(表10参照)。

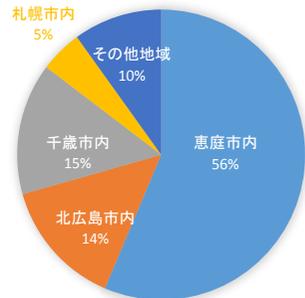
女性の業種別勤務先所在地 (表11)

離職前の勤務先所在地	女性勤務先所在地内訳				合計
	建設業	ゴルフ場	農業・園芸・林業	その他業種	
恵庭市内	4	38	20	14	76
北広島市内		15	1	1	17
千歳市内		4			4
札幌市内		1		1	2
その他		5		1	6
未回答					
性別・業種別合計	4	63	21	17	105

恵庭市内に従事する女性(76人)のうちゴルフ場従事者は38人(50.0%)であり、農業・園芸・林業が20人(26.3%)であった。この2業種で76.3%を占めた(表11参照)。

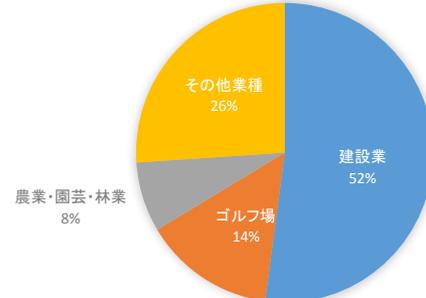


男性(211人)の勤務先所在地 (図05)



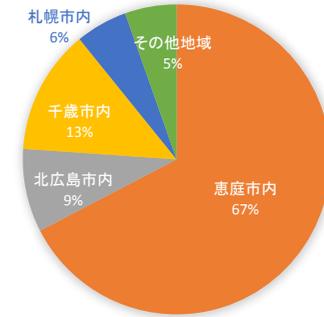
回答者(316人)の勤務先所在地を性別毎に比較した。男性は119/211人(56.4%)、女性は76/105人(72.4%)が恵庭市内で就労している(表9、図05.08参照)。

勤務先所在地(恵庭市内)に従事する男性(119人)の勤務先業種 (図06)



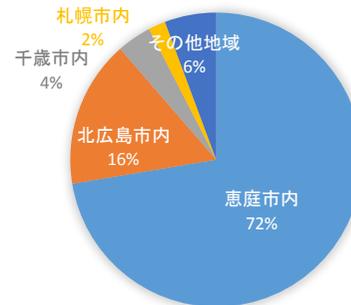
勤務先所在地(恵庭市内)を性別及び業種で比較した。男性は62/119人(52.1%)が建設業であり、その他業種で31/119人(26.1%)となった(表10、図6参照)。女性は38/76人(50.0%)がゴルフ場、次いで農業・園芸・林業が20/76人(35.5%)であった(表11、図9参照)。

建設業に従事する男性(92人)の勤務先所在地 (図07)

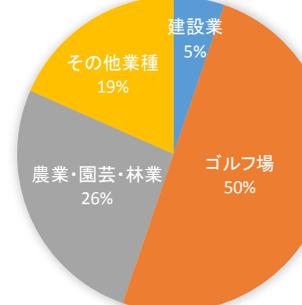


性別毎に構成率が高い業種の勤務先所在地を比較した。男性の建設業従事者は恵庭市内・千歳市内で74/92人(80.4%)を占めた(表10、図7参照)。女性のゴルフ場勤務者は恵庭市内・北広島市内で53/63人(84.1%)を占めた(表11、図10参照)。

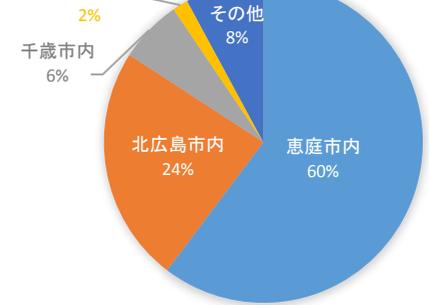
女性(105人)の勤務先所在地 (図08)



勤務先所在地(恵庭市内)に従事する女性(76人)の勤務先業種 (図09)



ゴルフ場に従事する女性(63人)の勤務先所在地 (図10)



回答者の勤務先との契約満了月【性別毎】〈表12〉

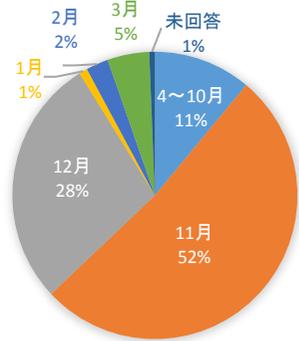
前勤務先の契約満了月	月毎合計	月	男性	女性	月別合計
4月～10月	35	4月	2		2
		5月	6	1	7
		6月	1		1
		7月	1		1
		8月	4	1	5
		9月	1		1
		10月	8	10	18
11月	164	11月	79	85	164
12月	89	12月上旬	11		11
		12月中旬	19	2	21
		12月下旬	51	6	57
1月	3	1月上旬	1		1
		1月中旬			
		1月下旬	2		2
2月	8	2月上旬			0
		2月中旬	1		1
		2月下旬	7		7
3月	15	3月上旬	5		5
		3月中旬	8		8
		3月下旬	2		2
未回答	2	未回答	2		2
合計	316	全体	211	105	316

回答者の勤務先との契約満了月【業種別・過ごし方】〈表13〉

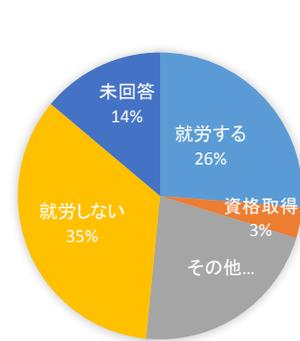
離職月	業種別内訳				業種合計	冬期間の過ごし方内訳					
	建設業	ゴルフ場	農業・園芸・林業	その他業種		就労する	資格取得	その他(就職活動等)	就労はしない	未回答	過ごし方合計
4～10月	6	16	6	7	35	12		2	12	9	35
11月	10	101	21	32	164	46	3	39	54	22	164
12月	61	3	10	15	89	21	5	19	34	10	89
1月	3				3		1	2			3
2月	5		2	1	8	1		4	2	1	8
3月	10		1	4	15	2	2	2	7	2	15
未回答	1			1	2			1	1		2
全体	96	120	40	60	316	82	11	69	110	44	316

● 回答者の離職月と業種を比較した。
11月の離職者は、164/316人(51.9%)と最も多く、業種別ではゴルフ場離職者が120/136人と回答者73.2%を占めた(表13参照)。高齢季節労働者の離職が反映されていると思われる。

回答者の契約満了月 図11



回答者の冬期間の過ごし方 図12



● 冬期間に就労すると回答した82人について(表14参照)。「同じ会社に就労する」が32人中、男性は24人(75.0%)、女性は8人(25.0%)であった。「違う会社でアルバイト」が46人中、男性は27人(58.7%)、女性は19人(41.3%)であった。11月～12月に離職する季節労働者に多く見られた。

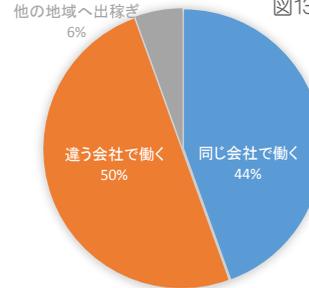
● 冬期間の過ごし方に対する回答について(表13、14参照) 就労すると回答した人は82/316人(26.0%)であった。資格取得と並行して就労する人、その他(就職活動を含む)、未回答者の中にも就労する人はいると思われるが、82人(就労する人)には含まれていない。一方、就労しない人は110/316人(34.8%)の回答があった。上記と同様に11月～12月に離職する季節労働者に多く見られた。

● 冬期間に「就労する人・就労しない人」の性別年齢構成比は表15を参照。どちらも高齢季節労働者の回答が目立っていた。

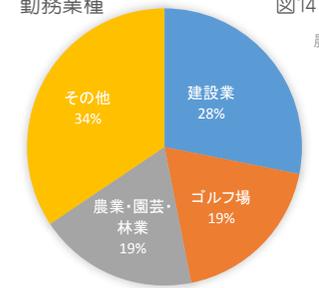
回答者の冬期間の過ごし方【性別毎、業種別】〈表14〉

離職後の過ごし方	性別内訳			離職前の業種内訳					H30業種合計
	男性	女性	合計	建設業	ゴルフ場	農業・園芸・林業	その他業種		
同じ会社で働く	24	8	32	9	6	6	11	32	
違う会社で働く	27	19	46	7	33	2	4	46	
他の地域へ出稼ぎ	3	1	4	3	1			4	
資格取得など講習に通う	11		11	7		1	3	11	
就労はしない	77	33	110	37	31	16	26	110	
その他(就職活動等)	50	26	76	20	35	10	11	76	
未回答	19	18	37	13	14	5	5	37	
性別・離職前業種別合計	211	105	316	96	120	40	60	316	

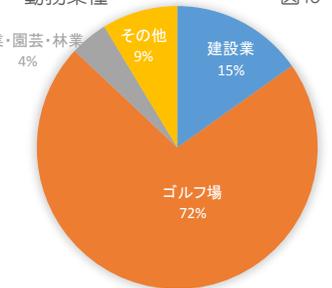
冬期就労者82名の就労先 図13



【同じ会社で働く】32名の離職前勤務業種 図14



【違う会社で働く】46名の離職前勤務業種 図15



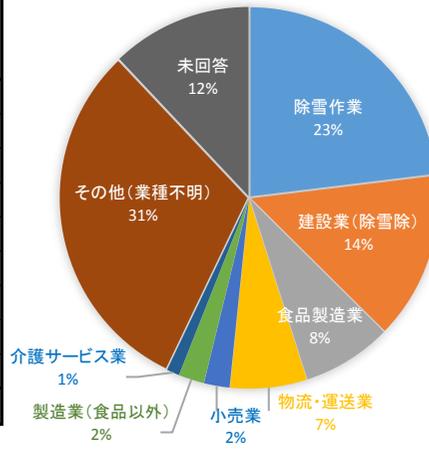
就労する人・しない人の性別と年齢層(男性211人、女性105人、回答者316人) 〈表15〉

	性別/年代	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	性別計	回答者/性別構成比	合計	回答者/316人の構成比
就労する人	男性		1	3	5	11	10	24	54	25.6%	82	25.9%
	女性		1	1	4	13	4	5	28	26.7%		
就労しない人	男性			6	2	13	12	44	77	36.5%	110	34.8%
	女性		1	1	3	10	9	33	31.4%			

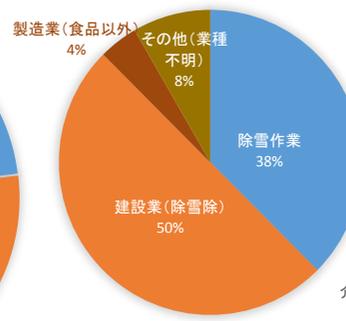
回答者の冬期間の短期就労先業種【性別毎、離職前の業種】 (表16)

離職後の冬期就労先業種	性別内訳			離職前の業種内訳				
	男性	女性	男女合計	建設業	ゴルフ場	農業・園芸・林業	その他業種	H30業種合計
除雪作業	19	2	21	9	10		2	21
建設業(除雪除く)	12	1	13	12	1			13
食品製造業	1	6	7		7			7
物流・運送業	3	3	6		6			6
小売業		2	2		2			2
製造業(食品以外)	2		2	1			1	2
介護サービス事業		1	1		1			1
その他業種	17	11	28	2	11	4	11	28
業種未回答	6	5	11	1	5	4	1	11
合計	60	31	91	25	43	8	15	91

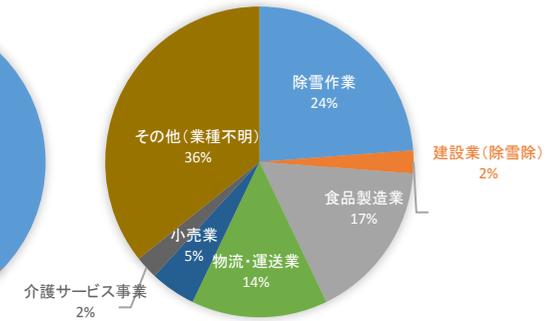
冬期間に就労する人の就労先業種 図16



建設業離職後に就労する人の冬期就労先業種 図17



ゴルフ場、農業・園芸・林業離職後に就労する人の冬期就労先業種 図18



● 冬期間に就労する人を性別及び離職前業種で比較した(表16、図17～20参照)。

建設業と警備業の離職者は性別問わず冬期間も同業種に就労する人が多い。建設業では同じ会社または違う会社で、除雪作業もしくは建設現場でアルバイト就労している。警備業の回答数は少ないが、冬期就労者の全員が同じ会社で警備のアルバイトに就くと回答した。

ゴルフ場、農業・園芸・林業の離職者の多くが冬期間は違う会社でアルバイトをする。男性は除雪作業で特にゴルフ場離職者が多く、女性は食品製造業が主な就労先業種である。物流・運送業は性別比率に差はなく6人が冬期間の就労先と回答した。

一方、ゴルフ場離職者が同じ会社で冬期間も就労する人はごく少数であるが、男性は除雪作業やゴルフ場オープンに備えたコース整備、女性は売店やレストラン(調理)に従事すると回答した。

※ 表12の冬期間就労者数(82人)と、表14の短期就労業種合計(91名)の誤差は、短期就労業種のみを回答した人がいるためである。

冬期間の就労期間内訳

【性別毎】 (表17)

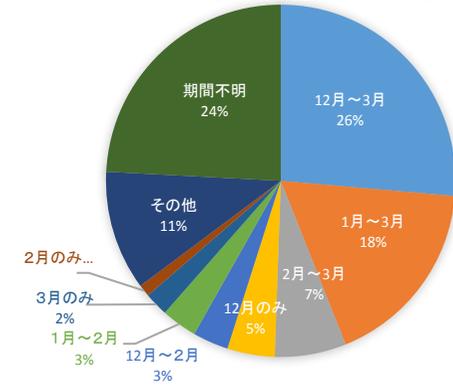
冬期就労すると回答した人の冬期就労期間	性別内訳		
	男性	女性	男女合計
12月～3月	15	9	24
1月～3月	13	3	16
2月～3月	5	1	6
12月のみ	1	3	4
12月～2月	3		3
1月～2月	1	2	3
3月のみ	2		2
2月のみ		1	1
12月～1月			0
1月のみ			0
その他	6	4	10
期間未回答	14	8	22
短期就労期間別性別合計	60	31	91

【短期就労先業種】

短期就労すると回答した人の冬期就労期間	冬期就労者の就労先業種内訳									
	除雪作業	建設業(除雪以外)	物流運送業	食品製造業	食品非製造業	介護サービス事業	小売業	その他業種	業種不明	就労業種合計
12月～3月	11		3	2			1	5	2	24
1月～3月	1	4			1			9	1	16
2月～3月	4	2					1			6
12月のみ				1				2		4
12月～2月	2	1								3
1月～2月	1		1					1		3
3月のみ								1	1	2
2月のみ				1						1
12月～1月										0
1月のみ										0
その他		1	1	2	1			5		10
期間未回答		3		2		1		5	11	22
短期就労期間別業種別合計	19	11	6	7	2	1	2	28	15	91

(表18)

冬期就労者91人の就労期間 図21

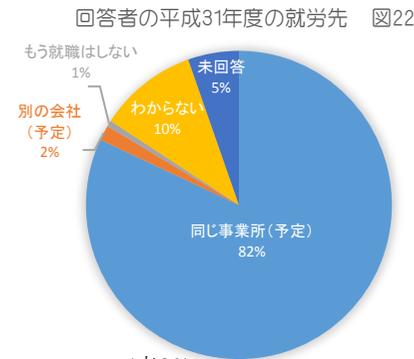


冬期間をフル(12月～3月)に短期就労している季節労働者は、40/91人(44.0%)に及んだ(表17.18参照)。

近年の傾向として、建設現場における工期延長、恵庭市近郊には短期就労しやすい企業が多いため短期アルバイトでの就労者が多く、この時期における支援事業の動員確保が大きな課題である。

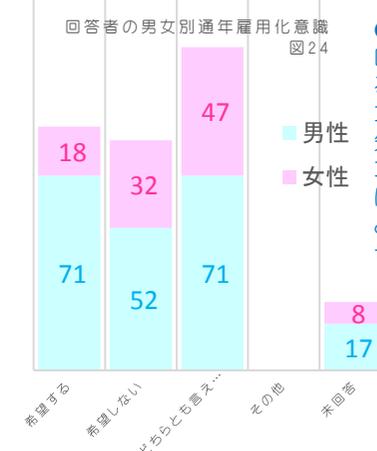
回答者の平成31年度春以降の就労先について【性別毎、平成30年度就労業種】<表19>

H31年度の就労先	性別		前年度業種内訳				合計
	男性	女性	建設業	ゴルフ場	農業・園芸・林業	その他業種	
本年度と同じ事業所に就職する(予定)	173	86	79	103	30	47	259
本年度とは別の会社に就職する(予定)	4	1		4	1		5
もう就職はしない	2		1		1		2
わからない	24	9	10	8	6	9	33
その他・未回答	8	9	6	5	3	3	17
性別・前年度勤務先業種合計	211	105	96	120	41	59	316



回答者の平成31年度春以降の就労先について【性別毎、年代別】<表20>

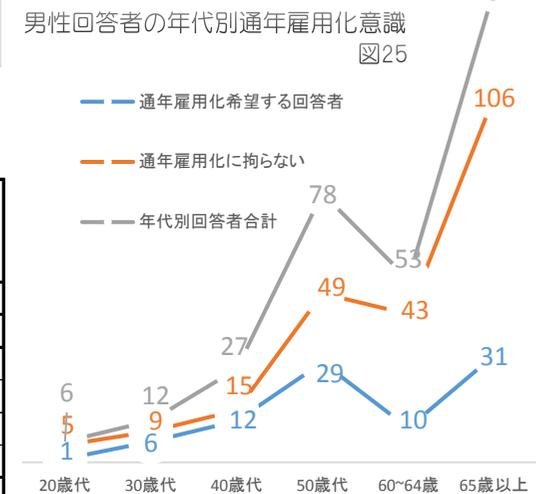
H31年度の就労先	本年度と同じ事業所に就職する(予定)		本年度とは別の会社に就職する(予定)		もう就職はしない		わからない		未回答		年代別合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
19歳以下												
20歳代	1	3					1	1			2	4
30歳代	9	1					3	2			12	3
40歳代	12	12					2	1			14	13
50歳代	37	28		1	1		4	5	2		42	36
60~64歳	26	18	1				4		1	3	32	21
65歳以上	88	24	3		1		10	2	7	2	109	28
回答別・性別合計	173	86	4	1	2		24	11	8	7	211	105
全体	259		5		2		35		15		316	



● 回答者の次年度の就職について分析した(図22参照)。回答者の259/316人(82.0%)が次年度も同じ事業所に就職する結果となった。ゴルフ場の離職者については103/120人(85.8%)が同じ就労先と回答した。ゴルフ場にとって季節労働者自らが長年培った知識と接客術は直接的な顧客満足度に繋がり、会社の利益と評価を上げると同時に、現場の人材教育係を担うなど会社にとっては欠かせない戦力となっている。

回答者の通年雇用化に対する意識調査【性別毎、年代毎】<表21>

通年雇用化意識調査	性別内訳		性別・年代別内訳												意識合計		
	男性	女性	19歳以下		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60~64歳			65歳以上	
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女
①希望する	71	18				1	5	1	9	3	21	8	10		26	5	89
通年雇用希望構成比	33.6%	17.1%			0.0%	25.0%	41.7%	33.3%	64.3%	23.1%	50.0%	22.2%	31.3%	0.0%	23.9%	17.9%	28.2%
②希望しない	52	32						2	4	9	9	4	10	37	9	84	
③どちらとも言えない	71	47			2	3	6	2	3	6	11	17	15	8	34	11	118
④その他																	
⑤未回答	17	8									1	2	3	3	12	3	25
②~⑤構成比					100.0%	75.0%	58.3%	66.7%	35.7%	76.9%	50.0%	77.8%	68.8%	100.0%	76.1%	82.1%	71.8%
①~⑤合計	211	105			2	4	12	3	14	13	42	36	32	21	109	28	316
年代別合計					6	15	27	78	53	137	316						



● 男性の40歳代が通年雇用化に高い関心を示し、50歳代を境に通年雇用希望者は減少している<表19参照>。女性は70%以上が現状の雇用形態を望む回答だった。女性の場合主たる生計者が少ないこと挙げられる。回答者190/316人(60.1%)が60歳以上であったため、通年雇用を希望する回答率は低下傾向にある。但し、「どちらとも言えない(118/316人)」を通年雇用希望者(89/316人)に加えると、207/316人(65.5%)と通年雇用希望比率が上昇する。

回答者が希望する支援事業 建設関連講習【性別毎、通年雇用関心度】 <表22>

建設関連講習	性別内訳			通年雇用化意識内訳 ●希望する ×希望しない ▲どちらでもない					
	男性	女性	合計	●	×	▲	その他	未回答	意識合計
フォークリフト	20	3	23	12	1	10			23
車両系建設機械(整地)	13	3	16	4	2	10			16
刈払機取り扱い	13	3	16	7	1	7		1	16
小型移動式クレーン	13	1	14	8	1	5			14
玉掛け技能	11	1	12	8		4			12
高所作業者	11	1	12	6	1	4		1	12
車両系建設機械(解体)	11		11	4	2	4		1	11
伐木取り扱い	11		11	4	2	4		1	11
ショベルローダー	10		10	5		5			10
不整地運搬車	8		8	4	1	2		1	8
ガス溶接	7		7	2	1	4			7
アーク溶接	7		7	4	1	2			7
地山掘削作業主任	7		7	3	1	2		1	7
ローラー運転	6		6	1		4		1	6
足場組立作業主任	5	1	6	4		2			6
2級土木施工管理技士	6		6	2		3		1	6
コンクリート解体作業主任	5		5	2	2			1	5
型枠支保工作業主任	5		5	2		2		1	5
職長・安衛管理	4		4	1		3			4
有機溶剤取扱者	2		2	1				1	2
はい作業主任者	2		2	1				1	2
2級建築施工管理技士	2		2	1				1	2
未回答	131	96	227	48	73	84		22	227
全体	211	105	316	89	84	118		25	316

回答者が希望する支援事業 医療介護技能講習【性別毎、通年雇用関心度】 <表25>

医療介護技能講習	性別内訳			通年雇用化意識内訳 ●希望する ×希望しない ▲どちらでもない					
	男性	女性	合計	●	×	▲	その他	未回答	意識合計
介護職員初任者	4	3	7	4	1	2			7
介護福祉士	3	3	6	2		4			6
介護職員実務者	2	1	3	2		1			3
看護助手技能	1	2	3	1		2			3
福祉有償運送運転者	2		2			2			2
医療・介護おさらい		1	1	1					1
全身性移動介護従業者									
同行援護従業者									
未回答	204	98	302	82	83	112		25	302
全体	211	105	316	89	84	118	0	25	316

回答者が希望する支援事業 業務用自動車教習【性別毎、通年雇用関心度】 <表23>

業務用自動車教習	性別内訳			通年雇用化意識内訳 ●希望する ×希望しない ▲どちらでもない					
	男性	女性	合計	●	×	▲	その他	未回答	意識合計
大型特殊	17	1	18	6	1	11			18
大型運転	12	2	14	6	-	8			14
中型運転	4		4	2	1	1			4
けん引	6		6	3		3			6
普通2種	3		3	1		1		1	3
大型2種	7		7	4	1	2			7
中型2種	1	1	2	2					2
その他	1		1			1			1
未回答	171	101	272	69	81	98		24	272
全体	211	105	316	89	84	118		25	316

回答者が希望する支援事業 施設管理技能講習【性別毎、通年雇用関心度】 <表24>

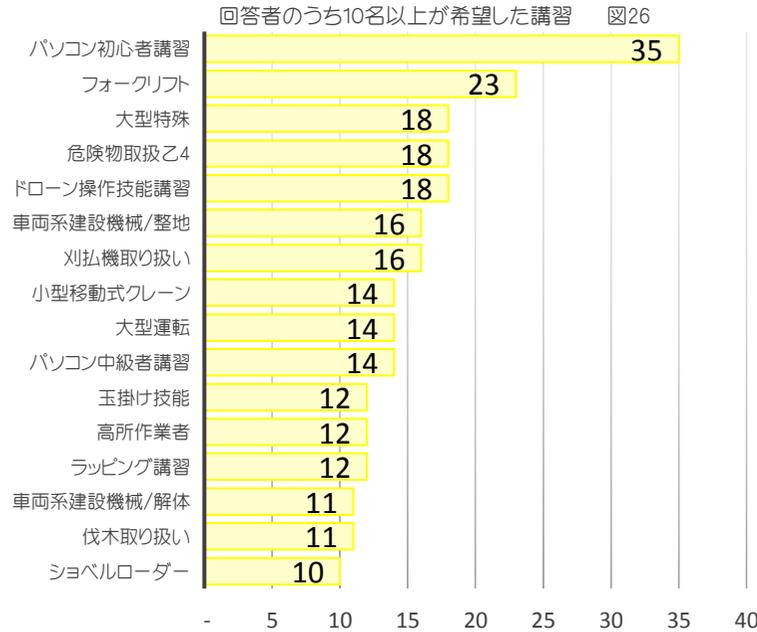
施設管理技能講習	性別内訳			通年雇用化意識内訳 ●希望する ×希望しない ▲どちらでもない					
	男性	女性	合計	●	×	▲	その他	未回答	意識合計
危険物取扱乙4	16	2	18	6	3	9	-	-	18
ボイラー取扱技能	8	1	9	2	-	7	-	-	9
電気工事士	2	-	2	-	-	2	-	-	2
未回答	189	102	291	81	81	104	-	25	291
全体	211	105	316	89	84	118	-	25	316

回答者が希望する支援事業 その他技能講習【性別毎、通年雇用関心度】 <表26>

その他技能講習	性別内訳			通年雇用化意識内訳 ●希望する ×希望しない ▲どちらでもない					
	男性	女性	合計	●	×	▲	その他	未回答	意識合計
パソコン初心者講習	17	18	35	10	12	13			35
ドローン操作技能講習	16	2	18	9	1	7		1	18
パソコン中級者講習	7	7	14	3	2	9			14
ラッピング講習		12	12	2	2	8			12
医療事務		7	7	1	1	5			7
外国人接客接遇講習	2	5	7	4	1	2			7
ドローン活用セミナー	6	1	7	2		5			7
介護事務	1	2	3	1		2			3
パワーポイント講習	1	1	2	1		1			2
簿記・販売士3級	1	1	2	2					2
マイクロオフィスSP	1		1			1			1
保育士おさらい	1		1			1			1
職場体験実習		1	1			1			1
合同企業説明会		1	1			1			1
就職支援セミナー									
その他									
未回答	171	73	244	64	72	84		24	244
全体	211	105	316	89	84	118		25	316

回答者が10人以上が希望する支援事業 上位16講習【男女合計 降順】 <表27>

No.	事業	講習・教習等	男性	女性	合計	希望者/316人
1	その他技能講習	パソコン初心者講習	17	18	35	11.1%
2	建設関連	フォークリフト	20	3	23	7.3%
3	業務用自動車	大型特殊	17	1	18	5.7%
4	施設管理	危険物取扱乙4	16	2	18	5.7%
5	その他技能講習	ドローン操作技能講習	16	2	18	5.7%
6	建設関連	車両系建設機械/整地	13	3	16	5.1%
7	建設関連	刈払機取り扱い	13	3	16	5.1%
8	建設関連	小型移動式クレーン	13	1	14	4.4%
9	業務用自動車	大型運転	12	2	14	4.4%
10	その他技能講習	パソコン中級者講習	7	7	14	4.4%
11	建設関連	玉掛け技能	11	1	12	3.8%
12	建設関連	高所作業車	11	1	12	3.8%
13	その他技能講習	ラッピング講習		12	12	3.8%
14	建設関連	車両系建設機械/解体	11		11	3.5%
15	建設関連	伐木取り扱い	11		11	3.5%
16	建設関連	ショベルローダー	10		10	3.2%



※ は両性とも希望する講習

● 希望する事業について調査をした。
図27は回答者のうち10人以上が希望した事業であり、男性・女性の内訳は、表27の通りである。

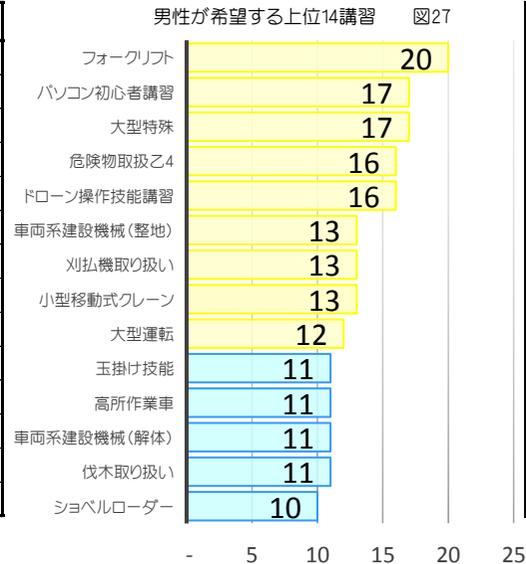
● 男性が希望する事業においては、フォークリフト、次いでパソコン初心者講習であった。
平成30年度の新規事業にドローン操作技能講習を実施したが、希望調査時点で既に16人が事業を支持し、関心の高さを反映する結果であった。(表28参照)。調査に回答者うち4人が実際に事業に参加した。

● 女性も男性と同様に18人がパソコン初心者講習を希望した。また平成30年度の新規事業としてラッピング講習を実施したが、調査では12人が事業を支持した(表29参照)。

● 男女を合わせるとパソコン初心者講習が35/316人(11.1%)を占め事業の中で一番高い支持があった。65.7%が50歳以上であり、高齢者の回答が多かったためにこのような結果になったと思われる。

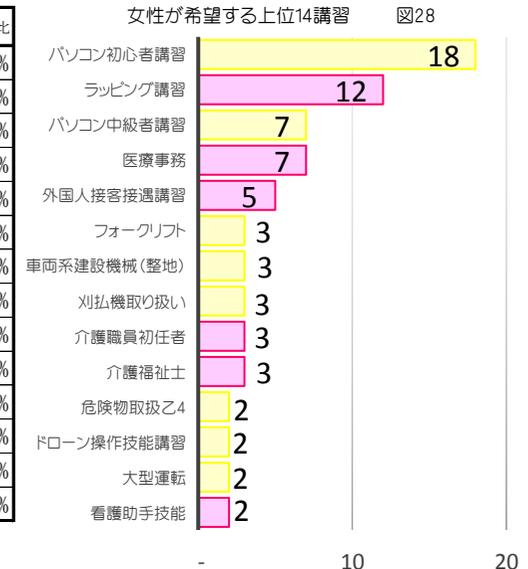
男性回答者が希望する講習上位14講習 <表28>

No.	講習・教習等	希望者	回答者比
1	フォークリフト	20	9.5%
2	パソコン初心者講習	17	8.1%
3	大型特殊	17	8.1%
4	危険物乙4	16	7.6%
5	ドローン操作技能講習	16	7.6%
6	車両系建設機械/整地	13	6.2%
7	刈払機取り扱い	13	6.2%
8	小型移動式クレーン	13	6.2%
9	大型運転	12	5.7%
10	玉掛け技能	11	5.2%
11	高所作業車	11	5.2%
12	車両系建設機械/解体	11	5.2%
13	伐木取り扱い	11	5.2%
14	ショベルローダー	10	4.7%



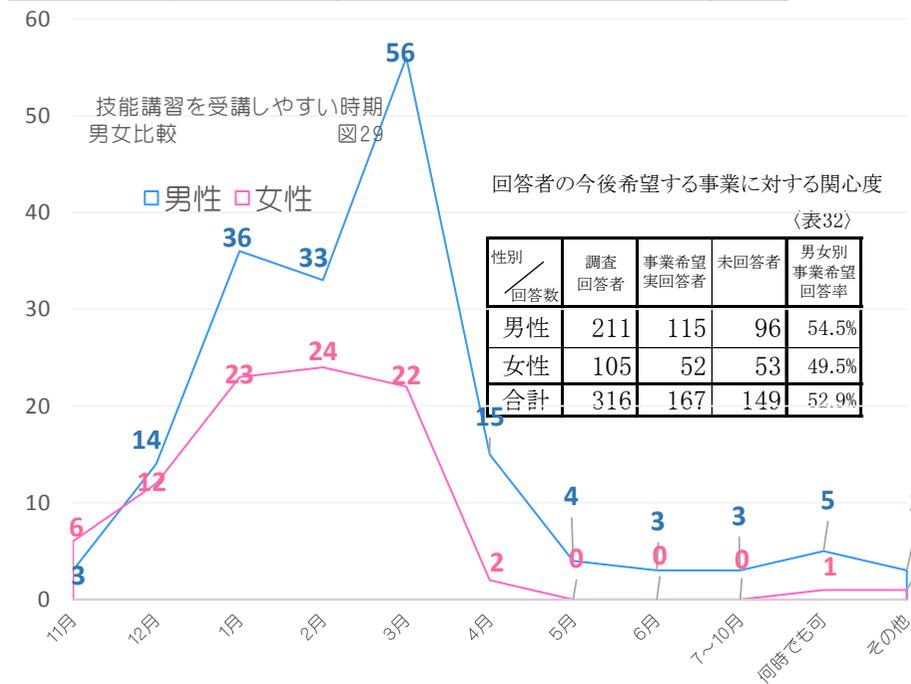
女性回答者が希望する講習上位14講習 <表29>

No.	講習・教習等	希望者	回答者比
1	パソコン初心者講習	18	17.1%
2	ラッピング講習	12	11.4%
3	パソコン中級者講習	7	6.7%
4	医療事務	7	6.7%
5	外国人接客接遇講習	5	4.8%
6	フォークリフト	3	2.9%
7	車両系建設機械/整地	3	2.9%
8	刈払機取り扱い	3	2.9%
9	介護職員初任者	3	2.9%
10	介護福祉士	3	2.9%
11	危険物取扱乙4	2	1.9%
12	ドローン操作技能講習	2	1.9%
13	大型運転	2	1.9%
14	看護助手技能	2	1.9%



回答者が支援事業を受けやすい時期【性別毎、前勤務先業種】 <表30>

技能講習を受講しやすい時期	性別内訳			離職前の業種内訳				
	男性	女性	男女合計	建設業	ゴルフ場	農業・園芸・林業	その他業種	業種合計
1月	36	23	59	21	17	11	10	59
2月	33	24	57	15	22	9	11	57
3月	56	15	71	23	28	10	10	71
4月	15	5	20	12	3	3	2	20
5月	4		4	2		1	1	4
6月	3		3	1			2	3
7～9月	3		3				3	3
10月								
11月	3	6	9		6	2	1	9
12月	14	12	26	1	15	4	6	26
いつでも可能	5	1	6	1	2	2	1	6
その他	3	1	4		1			1
回答者数	175	87	262	76	94	42	47	259



- 平成28年より、季節労働者には技能講習の協議会独自に行う早期予約受付を周知している。また、建設関連の事業所においても同様に早期予約が浸透している。事業主の指示のもと季節労働者が作業に必要な技能を取得している。
季節労働者の高齢化、建設工事の工期延長等の理由で技能講習受講者が減少に傾向にあるが、特に建設業に従事する季節労働者の事業参加者や通年雇用化のアウトカムは事業所の理解と協力が不可欠である。

回答者の前就労先契約満了時期と冬期間就労期間に回答した82人の冬期就労期間 <表31>

離職月	離職数	就労する人	12月のみ	12月～1月	12月～2月	12月～3月	1月のみ	1月～2月	1月～3月	2月のみ	2月～3月	3月のみ	期間不明
04～10月	35	12				2			1	1	1		7
11月	164	46	4		2	20		3	2			1	14
12月	89	21				1			12		5		4
01月	3								1				
02月	8	1										1	
03月上旬	15	2											
未回答	2												
全体	316	82	4		2	23		3	16	1	6	2	25
冬期就労者率		26.0%											

回答者の前勤務先業種と就労先契約満了時期と冬期間の過ごし方 <表33>

離職月	業種別内訳					過ごし方内訳					
	建設業	ゴルフ場	農業・園芸・林業	その他業種	業種合計	就労する	資格取得	その他(就労活動しない)	就労はしない	未回答	過ごし方合計
4～10月	6	16	6	7	35	12		9	12	2	35
11月	10	101	21	32	164	46	3	39	54	22	164
12月	61	3	10	15	89	21	5	19	34	10	89
1月	3				3		1	2			3
2月	5		2	1	8	1		4	2	1	8
3月	10		1	4	15	2	2	2	7	2	15
未回答	1			1	2			1	1		2
全体	96	120	40	60	316	82	11	76	110	37	316

- 離職時期のピークは11月であった。回答者のうち冬期間も引き続き就労すると回答した者は82人であり、うち57人がその就労期間について回答した(表30参照)。

離職後、支援事業に参加しやすい時期について、男性175人と女性87人の回答があった(表30参照)。

男性は建設業や除雪の離職時期を迎える3月に56人、女性は年末や年始向けの食品製造が落ち着く2月に24人が支援事業に参加しやすい時期と回答した(表28、図28参照)。

【季節労働者の主な意見】(ハローワーク勧誘時のヒアリングより)

- ① 冬期間は除雪作業に就くため事前の予定が立てられない
- ② 資格があっても現場で活す機会が無い
- ③ 現状の技能で十分通用する
- ④ 年齢的にも資格取得は無意味である
- ⑤ 子供がの冬休み(小学生、幼稚園等)、子供の受験を控えて居る、家族の介護等
- ⑥ まったく関心がない